台風・大雨に備えましょう

大雨時には早めに自主避難を

7月に入り本格的な台風シーズンを迎えました。台風や大雨による災害から身を守るには、日頃の備えと早めの避難が重要です。事前に避難所を確認し、いざというときに避難できるように準備しておきましょう。

■問合せ　防災安全課（市役所内線394）

「平成16年台風23号」がもたらした大雨で氾濫危険水位に達した杉原川

「自主避難」とは

「自主避難」とは、大雨・洪水警報の発令時や台風接近によって災害の発生が予想される場合に、市から避難勧告や避難指示が発令される前に、自主的に避難することです。

自主避難をする場所は、人や親類の家などさまざまですが、浸水や土砂災害の影響を受けない安全な場所を選んでください。大雨が降り出す前や明るいうちに避難しましょう。暗い中での避難は危険が伴いますので、2階への垂直避難も検討しましょう。

指定避難場所と自主避難所

避難情報を発令するときに市が開設する避難所を「指定避難所」といいます。一方で、安全な場所が確保できない方の自主的な避難のために、避難情報発令前に、指定避難所の一部を「自主避難所」として開設することがあります。自主避難所を開設したときは、防災行政無線やにしわき防災ネットでお知らせします。

■指定避難所一覧（自主避難所を含む）

施設名	住　所	自主避難所	風水害	地震
西脇小学校	西脇656-1	●	●	●
西脇市コミュニティセンター西脇区会館	西脇312-3	●	●	●
総合市民センター	西脇790-15		●	●
天神池スポーツセンター	寺内517-1			●
日野小学校	西田町62-1			●
西脇中学校	小坂町95			●
市民会館	郷瀬町605		●	
日野体育センター	富吉南町264-44	●	●	●
重春小学校	野村町1795-185	●	●	●
西脇南中学校	野村町1795-8		●	●
比延小学校	比延町22	●	●	●
双葉小学校	住吉町1-1-3			●
芳田小学校	落方町236-3			●
楠丘小学校	黒田庄町岡379		●	●
桜丘小学校	黒田庄町石原1470			●
黒田庄中学校	黒田庄町黒田136-1	●	●	●

災害への備え～避難情報と取るべき行動

気象情報

気象庁が「大雨警報」や「洪水警報」などを発令します。

雨の降り方や周囲の状況に注意します。また、テレビやラジオの情報に注意しましょう。

危険を感じるときは、早めに自主避難をします。

避難準備・高齢者等避難開始

今後の状況によって、避難勧告や避難指示を行うことが予想されるとき。

高齢者や障害のある方など避難に時間を要する方は、避難を開始してください。通常の避難行動ができる方は、避難の準備を始めてください。

避難勧告

災害が起こる可能性や、人的被害が出る可能性が高まったとき。

人的被害の可能性が明らかに高まった状態です。避難行動を開始してください。

避難指示（緊急）

災害が起こる可能性が極めて高く、避難すべき状況であるとき。

直ちに避難をしてください。

避難情報

避難情報

西脇市では状況に応じて、「避難情報」を3段階（上図）に分けて発令します。発令時は防災行政無線やにしわき防災ネットなどでお知らせします。

同じ地域であっても、場所によって状況が異なります。周辺の状況から判断して、早めに自主避難をするようにしましょう。

身を守る「日頃の備え」

災害から自分自身や家族の身を守るためには、日頃から十分な備えが必要です。日頃からできる対策を紹介します。

①食料や日用品の準備

自主避難所には飲料水や食事、毛布などの準備はありません。米やレトルト食品のおかず、飲料水、燃料、毛布など、食料や日用品を事前に準備しておきましょう。

②非常持ち出し品の準備

避難情報が発令されたとき、すぐに避難できるように、左表の非常持ち出し品リストを参考に準備しておきましょう。

たくさんの持ち出し品を避難所に運ぶことは困難です。男性は15kg、女性は10kg程度を目安にまとめましょう。

③連絡手段の確認

携帯電話が通じないときには、災害時伝言ダイヤルを活用するなど、家族間の連絡手段を決めておきましょう。

④避難所と避難経路

最寄りの避難所の場所と、自宅から避難所までの安全な経路を確認しておきましょう（指定避難所は右に掲載）。

⑤防災行政無線の確認

防災行政無線の個別受信機の電池ランプが点滅していれば、電池を交換しましょう。

警報発令時は全国瞬時警報システム（Jアラート）が作動し、自動的に防災行政無線から警報発表の放送が流れます。台風が接近しているときや、雨脚が強くなっているときは、防災行政無線の放送内容に注意しましょう。

持ち出し品リスト

□ラジオ

AMラジオ・FMラジオが聞けるものが便利。予備の電池を多めに準備しましょう。

□救急薬品

ばんそうこうや包帯、消毒液、鎮痛剤、胃腸薬を準備。持病がある人は常備薬も忘れずに準備しましょう。

□懐中電灯

可能であれば一人に1個ずつ。予備の電池も準備しましょう。

□非常食品

乾パンや缶詰など、火を使わなくても食べられるもの。また、ミネラルウオーターなどの飲料水も準備しましょう。

□貴重品

現金（10円硬貨があると便利）のほか、通帳や印鑑、運転免許証などの身分証明書なども準備しましょう。

□日用品

防寒着や下着などの衣料品と、雨具やタオル、軍手、ヘルメット、生理用品などの日用品を準備しましょう。